



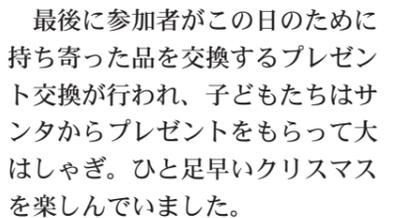
国際交流パーティー



12月23日(金・祝)に、市国際交流協会主催の国際交流パーティーが中央公民館で開催されました。

親子など63名が参加し、クリスマスケーキの話の聞いたり、スタッフ手作りのサラダやチキン、ケーキなどを食べたり、ゲームをしたりして楽しみました。また、クリスマスには欠かせないリース作りでは、松ぼっくりやベルなどを相談しながら飾りつけ、オリジナルのクリスマスリースを作りました。お母さんと参加した松井愛さん、里佳さん姉妹(今市)は、「初めて参加しました。ゲームも楽しかったし、料理もおいしかったです。トナカイをイメージして作ったリースは家の玄関に飾ります」と話してくれました。

最後に参加者がこの日のために持ち寄った品を交換するプレゼント交換が行われ、子どもたちはサンタからプレゼントをもらって大はしゃぎ。ひと足早いクリスマスを楽しんでいました。



武射祭

1月4日(水)、中宮祠上神橋で武射祭が行われました。

この祭りは、二荒山神と赤城山神(群馬県)が中禅寺湖をめぐって争った時、弓の名手の小野猿麻呂が赤城山神の軍勢を撃退したという神戦譚に由来し、室町時代から続く伝統ある神事です。

当日は雪が舞う厳寒の中、吉田宮司の初射から、えぼしを着けた



神官やかみしも姿の弓道家の人たちが、「ヤー」と関の声を上げ、赤城山に向かって次々と矢を放ち、無病息災を祈念しました。

放たれた矢を拾って札所へ持っていくと、災難除け開運御守を付けた破魔矢にでもらえます。矢を拾うことができた米山さん(宇都宮市)は、「30年間、欠かさず来ています。今年も行事の荘厳さに、感動しました」と話してくれました。



成人式

1月8日(日)、市内5地域で成人式が行われました。

藤原地域は86名の新成人が出席。記念式典では、3名による青年の主張があり、両親や友人への感謝の気持ちや、今後の決意が述べられました。また新成人を代表して本間芽依子さんが、「世界の日光に恥じない大人になれるよう、皆



さんの期待に応えたい」とあいさつしました。

式典後には、スライドショーやミニライブ、タイムカプセルの開封などが行われ、会場は笑顔と歓声に包まれました。実行委員長を務めた宮原成晃さん(鬼怒川温泉大原)は、「例年とは違う成人式にして盛り上げたいと思いました。大成功でよかったです」と感想を聞かせてくれました。



日光市駅伝競走大会



12月18日(日)、第6回日光市駅伝競走大会が開催され、一般の部(7区間28.7km)は日光総合会館、中学校対抗の部(6区間15.9km)は豊岡運動公園をそれぞれスタートし、市役所本庁舎のゴールを目指してたすきをつなぎました。

7チームが出場した一般の部・支部対抗では、大沢支部が1時間35分44秒で、2年ぶり3度目の優勝。16チームが出場した一般の部・オープンでは、栃木RCが、1時間31分42秒で優勝を果たしました。

また、8チームが出場した中学校対抗の部では、今市中学校陸上部が優勝、2位が今市中学校バスケットボール部A、3位が落合中学校という結果になり、今市中学校は6連覇を達成しました。



大会終了後に行われた表彰式では、区間賞なども表彰され、好成績を収めた選手に賞状と盾が贈られました。



今月の表紙

日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会

12月23日(金・祝)〜25日(日)、霧降アイスアリーナと細尾ドームリンクの2会場で開催された日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会が開催されました。女子のアイスホッケー全国大会は、二つしかなく、その一つがこの大会です。全国8ブロックからの選抜選手で構成する10チームと栃木県選抜(以下、県選抜)の11チームで熱戦が繰り広げられました。



日光アイスバックスレディーズの選手を中心に構成された県選抜は、予選リーグで中四国・九州選抜と2試合を行い、10対0、12対0と2連勝で決勝トーナメントに進出。1回戦は終始ゲームを支配し、関東選抜に4対2で勝利しま



した。続く準決勝、大会3連覇中の苫小牧選抜戦では、5点リードされた終盤に1点を返す粘りを見せてくれました。最終日の3位決定戦は、東京都選抜に惜しくも3対7で敗れましたがベスト4入りを果たしました。優勝は、苫小牧選抜に2対1で競り勝った釧路選抜でした。

表紙は、3位決定戦で、2得点目を喜び合う選手たちです。

今大会で活躍した県選抜の選手たちは、2月下旬に日光市で開催されるもうひとつの全国大会、「第16回全日本女子アイスホッケー選手権(B)」にも出場します。この機会にひた向きに頑張る選手を会場で応援してみませんか。